

平成24年第4回定例会 ◆発言者一覧◆

平成24年第4回定例会(第2日目) 2012.12.10	発言順 : 1 鈴木繁雄 (自由民主党・仙台)
	発言順 : 2 渡辺敬信 (市民フォーラム仙台)
	発言順 : 3 跡部薫 (復興仙台)
平成24年第4回定例会(第3日目) 2012.12.11	発言順 : 1 小田島久美子 (公明党仙台市議団)
	発言順 : 2 すげの直子 (日本共産党仙台市議団)
	発言順 : 3 石川建治 (社民党仙台市議団)
平成24年第4回定例会(第4日目) 2012.12.12	発言順 : 1 菊地崇良 (自由民主党・仙台)
	発言順 : 2 小野寺健 (市民フォーラム仙台)
	発言順 : 3 庄司俊充 (復興仙台)
	発言順 : 4 鎌田城行 (公明党仙台市議団)
	発言順 : 5 高見のり子 (日本共産党仙台市議団)
	発言順 : 6 ひぐちのりこ (社民党仙台市議団)
平成24年第4回定例会(第5日目) 2012.12.13	発言順 : 1 及川英樹 (みんなの党・みんなの仙台)
	発言順 : 2 大泉鉄之助 (自由民主党)
	発言順 : 3 やしろ美香 (自由民主党)
	発言順 : 4 安孫子雅浩 (市民フォーラム仙台)
	発言順 : 5 渡辺博 (復興仙台)
平成24年第4回定例会(第6日目) 2012.12.14	発言順 : 1 花木則彰 (日本共産党仙台市議団)
	発言順 : 2 大槻正俊 (社民党仙台市議団)
	発言順 : 3 早坂あつし (みんなの党・みんなの仙台)
	発言順 : 4 佐藤わか子 (市民フォーラム仙台)
	発言順 : 5 小野寺淳一 (みんなの党・みんなの仙台)

平成24年第4回定例会(第2日目) 2012.12.10

発言順: 1 鈴木繁雄 (自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 来年度の予算編成に際し、被災地の再建支援等の予算処置を強く求め、中核都市として積極的な情報発信をすべきことについての市長の決意	0	0	0	0
2: 災害復旧予算が消化されず、国庫に返還せざるをえないことが仙台市で起きていないか、また起きている場合の対応	0	0	0	0
3: 独自支援についての市長の見解	0	0	0	0
4: 復興の現状に対する市長の認識と今後の方針	0	0	0	0
5: 国際センター駅周辺地区コンベンション施設整備事業について(民間からの反応と提案の有無、施設の内容、公設に変更した理由、民間活力の行方、財政状況を考慮する必要性、国からの補助金が得られる整備方法の検討の必要性、整備の手法を幅広く考える必要性)	0	1	1	2
6: 仙台商業跡地の利活用の方針	0	0	0	0
7: 水族館建設について(大手総合商社の計画を知った時期、高砂中央公園整備地の利用の協議を始めた時期、3つの水族館の必要性についての疑問)	1	0	1	2
8: みやぎ発展税についての知事の対談内容と知事に求めた対応	0	0	0	0
9: 組合施行の市街地再開事業の県の負担について県に協議要求しているか、県の負担が少なくなったために市街地再開がやりにくい都市になったことについての市長の対応	1	1	1	3
10: 防災部門を市長部門(市長直轄組織)に移し、総合的に取り組むべき必要性	1	1	2	4
11: 復興公営住宅整備のために取得する物件の取得理由、解体する物件に多額の税金を投入することの疑問	1	0	1	2
12: 国民健康保険の保険料の算定方式を住民税を基準とする方式から所得を基準とする方式に変更することにつき十分な議論と十分な準備告知の時間を用意すべき必要性	1	0	1	2
13: 歳入歳出両面の健全化において最も重視すべき点と来年度の歳入歳出両面の見直し	0	0	0	0
14: 国の予算編成の遅れによる市の予算編成への影響と対応、復旧・復興事業の進行	0	0	0	0
15: 復旧・復興事業につき、引き続き国に対し強力な働きかけを継続する必要性とそれについての市長の見解	0	0	0	0
16: 入札不調への対策と今後の対応	0	0	0	0
	<b>5</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>15</b>

【コメント】

2⇒同様の問題が起きているかどうか、起きている場合なぜ起きたのか調べて質問すべき

3・4⇒独自支援、復興の現状についての質問者の認識（問題があるのかないのか、あるとすれば何か、その原因とそれに対する対策）が全く反映されていない。市長の見解を引き出すだけの質問に意味があるのかどうか検討すべき。

5⇒このうち「民間からの反応と提案の有無」「施設の内容」「公設に変更した理由」「民間活力の行方」は事前に調べて質問すべき。

7⇒このうち「大手総合商社の計画を知った時期」「高砂中央公園整備地の利用の協議を始めた時期」も事前に調べて質問すべき。

8⇒これも事前に調べて質問すべき。

10⇒他都市の調査を踏まえた優れた質問。

13⇒きわめて重要な課題。何が最も重要かを市長に訊くのであれば会派あるいは議員として「ここが最も重要である」と指摘する必要がある。

平成24年第4回定例会(第2日目) 2012.12.10

発言順: 2 渡辺敬信(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 国際センター駅周辺地区コンベンション施設整備事業について (民設民営を見送った理由、実績を上げる仕組みづくりと誘致の見直し、催事の限定の心配、国際センターとの一体利用に伴う問題点)	0	0	0	0
2: 成人への消費者教育の予定(新成人へのアプローチの工夫、新入社員への消費者教育、敬老会などの行事の機会の出前教育講座)	1	0	1	2
3: 資材調達が困難な状況の打開策	0	0	0	0
4: 通学路の安全対策(通学路の設定の見直し、車道と歩道の区別のない道路に関する自動車の走行規制、要望の取りまとめと警察との交渉、学校ボランティア防犯巡視員の活用)	1	0	1	2
5: 網膜色素変性症の患者のために音響装置つき信号機を増やす必要性	1	0	1	2
6: 笹子トンネルの天井崩落事故を受けての緊急点検、市道や橋梁などの公共物についてのアセットマネジメントの実施	0	0	0	0
7: 地域主権改革に対する市長の評価	0	0	0	0
8: 海辺の交流再生プロジェクトについて(基本構想策定の進行状況、意見の反映、野球場や合宿所の併設の必要性、構想策定への意気込み)	0	0	0	0
9: 中小企業の再生支援対策(ステップアッププランの進捗状況、若者に中小企業に就職してもらう取組み、クリエイティブ産業と既存産業との結びつけ)	0	0	0	0
10: スポーツ推進(仙台リレーマラソンの開催日の設定、参加チーム数の拡大、今大会の総括と評価)	0	0	1	1
11: IC乗車券の全国相互利用へ積極的に加わるべき、乗車リーダーと運賃箱の液晶表示器の残高表示部分の改善	0	0	1	1
12: 東日本大震災を風化させないための取組み	0	0	0	0
13: 地域防災計画見直し中間案について(避難道路の幅員の確保の必要性)	0	0	1	1
14: 市長の3年間の市政運営と残りの任期についての決意	0	0	0	0
	3	0	6	9

【コメント】

1⇒重要な論点。関係資料の開示を受けて収支の見直し等について分析し、具体的な質問をするべき。問題点の提示では質問としては明らかに不足。  
 3⇒打開策として今市が何をしているのか、市に何が可能かを事前に調べて、市にやれることを特定し、「〇〇はできるのではないか」と質問する必要がある。  
 4⇒安全対策の徹底にとって何が必要か、他都市の事例などを調査研究し、調査研究の結果に基づいて具体策を提示するべき。  
 6⇒点検したかどうか事前に調べて質問するべき。  
 7⇒市長の評価を聞いて次どうするかが重要ではないか。聞いて終わりという質問スタイルを見直す必要がある。

平成24年第4回定例会(第2日目) 2012.12.10

発言順：3 跡部薫(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：第4次復興交付金申請の交付額についての評価。第5次以降の申請の見通しと復興事業の進捗	0	0	0	0
2：平野復興相が災害危険区域外の住宅再建についての自治体の独自支援に財政処置を講じることを明らかにしたことと仙台市の働きかけとの関係	0	0	0	0
3：宅地被害対策事業の進捗について(現在の進捗状況。今後の課題。現地再建が困難な緑ヶ丘の住民への周知や今後の対応)	0	0	0	0
4：復興公営住宅について(①先例の教訓をどのように生かしたのか。共助型のコミュニティー創生への対応②仙台市民と本市以外の入居者との入居基準の調整③新しいコミュニティーへの支援策④公募買取事業の効果、市場の反応)	0	1	0	1
5：応急仮設住宅に入居中の被災者の健康支援対策、生活再建支援策	0	0	0	0
6：地域防災計画の中間案について(実効性の確保。組織間の連携)	0	0	0	0
7：地域の避難所運営の見直しについて(実効性ある訓練を日頃から工夫して導入する必要性。市民センター職員の災害時の位置づけ。保険制度の整備)	1	0	2	3
8：学校における防災教育と地域と学校の連携(学校現場での避難所の開設の取り組み、防災教育カリキュラムの必要性)	0	0	0	0
9：本市の経済概況	0	0	0	0
10：本市の地域経済の活性化の方針	0	0	0	0
11：(仮称)国際センター駅周辺地区コンベンション施設整備事業について(取り組み方針。国連防災会議の誘致の見通しと受け入れ体制。今後のコンベンション誘致の戦略)	0	0	0	0
12：通学路の緊急安全対策についての取り組み	0	0	0	0
13：待機児童解消策(私立幼稚園の三歳未満児専用保育所整備への補助の拡充。幼保連携型認定こども園についての認識)	0	0	0	0
14：今後の地方自治についての市長の所見	0	0	0	0
15：市長続投の意欲	0	0	0	0
	1	1	2	4

## 【コメント】

- 1⇒自らの認識はどうか。第4次交付金のどこに問題があるか調べて、質問すべき。
- 3⇒事前に調べて、問題点を明らかにして質問すべき。「知らないことを聞く質問」は改める必要がある。
- 4⇒これも事前に調べて、問題点を明らかにして質問すべき。課題を掲げて市の方針を確認するだけの質問は改める必要がある。
- 5⇒健康支援対策、生活再建支援策として何が欠けているのか、何ができるのか、何をすべきなのか、現場調査をして現況の健康支援対策、生活再建支援策の問題点を指摘し、改善案を持って質問すべき。
- 6⇒これも実効性の確保として何が必要で何が欠けているかを調べてから質問すべき。
- 7⇒具体的で優れた質問。
- 10⇒どのような方針をとるべきか、質問者の考えを明確にする必要がある。考えがあって質問しているのか、わからなくて質問しているのか区別が困難。
- 11⇒諸課題につき、何が問題なのか事前に調べて質問すべき。
- 12⇒他都市の事例を調査し、市が今やれることを特定し、「〇〇はやれるのではないか」「〇〇をしないのはなぜか」と質問すべき。「様々な団体の協力や相互連携等」では一般的すぎる。
- 13⇒未来局長の回答程度のことは事前に入手できるはず。その上で何が問題かを指摘する必要がある。

平成24年第4回定例会(第3日目) 2012. 12. 11

発言順: 1 小田島久美子(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 保育施設の基準となる面積について ・ 1人あたり5㎡を変更する可能性があるか ・ 国の3.3㎡を検討する必要性 ・ 仙台保育室との意見集約 ・ 3.3㎡にした場合に見込まれる増加人数 ・ 就労者の資格要件の緩和 ・ 仙台保育室の認可保育園への移行とそれの場合の面積基準 ・ 子育てのニーズと支援事業計画	1	0	2	3
2: 在宅で介護できる支援策の充実の必要性	0	0	1	1
3: 区画整理と町名変更, 郊外団地の生活環境の改善	0	0	0	0
4: 国際センター駅周辺地区のコンベンション施設について ・ 施設の特徴 ・ コンセプト ・ 公設民営に移行した理由 ・ 世界中から足を運びたくなる施設 ・ 防災機能 ・ 自立支援的施設の整備 ・ イベントの誘致	0	0	1	1
5: 消費者トラブルの未然防止と消費者教育啓発の推進 ・ 仙台市消費者教育連絡協議会の開催日数を増やすなどの充実 ・ 教育の中での工夫 ・ 子供を守る指導, 助言	0	0	0	0
6: 通学路緊急安全対策 ・ ゾーン30の周知 ・ 総合的安全対策の定期的・継続的実施の必要性	0	0	0	0
7: 地域防災計画中間案 ・ 定期的な図上訓練, 実地訓練の必要性 ・ 区の避難所担当職員の地域への浸透 ・ 避難所施設内のスペースの開放基準 ・ 集会所等の補助避難所への位置づけ ・ 原子力災害対策の計画, 中間案の市民への説明方法 ・ パブリックコメントの体制の検討 ・ 国に対する新たな法整備の要求	0	0	1	1
8: 東日本大震災からの復興 ・ 女性リーダーシップ基金 ・ 地域における女性の視点の重要性 ・ 被災による父子家庭の増加と支援の必要性 ・ 住宅再建の追加支援 ・ ボランティア支援	0	0	1	1
	1	0	6	7

【コメント】

1⇒現状の問題点をとらえた優れた質問  
3⇒ポイントが絞られていない。区画整理事業区域内の特有の問題と市政との関連性を調べて、問題の責任が誰にあるかをはっきりさせ、質問すべき。「事業主体の再構築」は意味不明。  
4⇒公設民営に移行した過程などは、事前にその理由を調査し、問題点を指摘して質問すべき。「こうあるべきだかどうか」という質問では問題点がえぐれない。  
5⇒消費者教育の実効性についてもっと調査すれば、実効性を高めることができる具体的な改善案を提示できるはず。

平成24年第4回定例会（第3日目）2012. 12. 11

発言順：2 すげの直子（日本共産党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：復興予算の流用を国に厳しく抗議し、流用をやめるよう強く求めるべき	0	0	1	1
2：被災者生活再建支援金の拡充策の財源を国が保障することを求めるべき	0	0	1	1
3：仙台市の復興予算の使い方の問題 ・首をかしげる支出 ・市民の前に明らかにする必要 ・復興計画（再建事業）の内訳と根拠の公開の必要性	1	0	1	2
4：市民生活応援の予算を削ることの問題点 ・敬老乗車証の改悪 ・一部負担や有料化 ・見舞金の廃止 ・学校の暖房費 ・仮設住宅に住んでいる人等への暖房費	0	1	1	2
5：動物公園駅のパークアンドライドの過剰予測と見直しの必要性	1	0	2	3
6：国際センター駅周辺コンベンション施設整備（民間がやれないことを市がやる必要はない）	0	0	1	1
7：水族館への出資金10億円を減額したことの総括と教訓化しているか否か	0	0	0	0
8：プレハブ仮設住宅の移住条件の見直し	0	0	1	1
9：（生活再建について）制度に人を合わせるのではなく、市民の暮らしを優先し、制度を活用すべき	0	0	0	0
10：復興公営住宅の整備 ・最後の一人まで責任を持つ必要 ・必要な戸数の整備は市が責任を負うべき ・折立などの現地に復興公営住宅を整備する必要性 ・あすと長町に復興公営住宅を整備する必要性 ・川内の公務員住宅の復興公営住宅への転用 ・復興公営住宅の家賃の引き下げ ・戸建ての復興公営住宅の家賃の提示 ・生活再建について	1	0	2	3
11：国民健康保険の算定方法の変更について	0	0	1	1
	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>11</b>	<b>15</b>

【コメント】

1, 3⇒国に抗議するべき、国に問うべきという質問の実効性を一度検証する必要がある。  
 3, 4⇒様々な事例を並べて市政の傾向を批判的に評価するパターンの質問方法の実効性を一度検証する必要がある。  
 8⇒この事例に対する市の対応を批判するだけではなく、仮設住宅の利用（移住）条件が実態に合っているかいないかを調査し、合っていないければ、それをどのように改めるべきか具体的な改善案を携えて質問するべき。  
 10⇒必要な戸数の整備は総論としてはそのとおりであるが、各論の障害を視野に入れないで総論だけの質問で十分か。川内の公務員住宅の復興公営住宅への転用は優れた質問。



平成24年第4回定例会（第3日目）2012.12.11

発言順：3 石川建治（社民党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：行財政改革の問題点 ・正職員の削減の弊害に目を向けているか ・臨時職員，非常勤嘱託職員の増加と低賃金 ・新規採用者数の維持の必要性	1	0	1	2
2：食の安全・安心に関する啓発パンフレットの見直しの必要性	1	0	1	2
3：（仮称）食品安全条例の制定についての市長の所見	0	0	1	1
4：通学路緊急安全対策 ・向陽台小学校の通学路のカラー化についての評価 ・対策を要する個所についてのこれまでの取り組み ・安全確保のための様々な対策 ・下校時間帯の実態に合わない規制	1	0	1	2
5：仙台市地域防災計画中間案について ・総合力をつくり出す道筋 ・支援を受けられなかった市民へのメッセージ	0	0	0	0
6：職員の削減と避難所の運営や復旧事業などの震災時のマンパワーの確保	0	0	0	0
7：指定避難所の太陽光発電システムの平時の利用の可能性	0	0	0	0
8：避難所を運営する人的資源の活用	0	0	1	1
9：帰宅困難者対策 ・コンビニエンスストア等の活用の問題点 ・ハード面の整備の必要性 ・作業員のスキルの向上	0	0	0	0
10：災害時要援護者支援対策 ・これまでの取り組み ・今後の取り組み ・特別支援学級の生徒児童への支援	0	0	1	1
11：（仮称）津波避難施設の整備 ・整備位置や整備時期 ・スロープ整備や備蓄 ・集団での移動を考慮する必要性 ・六郷中学から仙台東部道路までの区間の整備の必要性	0	0	1	1
	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>7</b>	<b>10</b>

【コメント】

1， 6 ⇒職員の削減の問題はトータルな調査が必要な重要課題。会派をあげての継続的・総合的調査が必要ではないか。  
 5 ⇒総合力をつくり出す道筋とは何か。自らの考えを明らかにして質問するべき。支援を受けられなかった市民へのメッセージは意味が不明。  
 7 ⇒担当者に利用できるできないを事前に確認し，質問するかどうか決めるべき。  
 11 ⇒整備位置や整備時期，スロープ整備，備蓄は事前に確認して質問するべき。

平成24年第4回定例会（第4日目）2012. 12. 12

発言順：1 菊地崇良（自由民主党・仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：震災復旧・復興について（国に対する要望についての国の対応。現状と見通し。更なる継続要望活動の必要性）	0	0	0	0
2：仮設住宅や一般の方への心のケア（フラッシュバックに対する対応。ケアにあたる関係諸団体に対する指示・依頼及び団体間の連絡や連携）	0	0	0	0
3：鶴ヶ谷二丁目地区計画内の建築物に関する制限について	1	0	1	2
4：地域防災計画中間案について（マンパワー不足。避難所の指定。学校における防災教育）	1	1	2	4
5：津波避難施設の整備の問題点	2	0	2	4
6：北朝鮮のミサイル発射について	0	0	0	0
	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>10</b>

【コメント】

- 1⇒質問があまりに抽象的，一般的過ぎる。国に対する要望の問題点を明確にして質問するべき。  
 2⇒心のケアについて市が今何をしているのか。どこに問題があるのかを事前に調査して質問するべき。この質問に対する回答が質問のスタート地点であるはず。  
 4⇒問題点をきちんと整理した優れた質問。  
 5⇒現地調査を踏まえた優れた質問。

平成24年第4回定例会（第4日目）2012. 12. 12

発言順：2 小野寺健（市民フォーラム仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：誤報メールの発信を判断者と判断の根拠、マニュアルの存否、見直しの必要	0	0	0	0
2：社会資本、インフラの老朽化対策（平成23年の第4回定例会の回答以降の取り組み。これらに予算を優先的に使用する必要性）	0	0	1	1
3：泉パークタウン高森地区の道路・公園・宅地の陥没のその後の経過と業者に負担を求める必要性	0	0	1	1
4：公共施設の利用（イベントだけではなく、くつろぎに来られる市民のための施設にする手立て。出前の文化芸術プログラムの充実）	0	1	1	2
5：いじめ問題（現在のいじめの実態についての所見。仙台市の小中学校のいじめ件数。それについての取り組みと指導。いじめの実態。ネットに対する情報モラル教育。いじめ防止条例）	0	1	1	2
	0	2	4	6

【コメント】

- 1⇒判断の根拠、判断者等の事前に調査して質問すべき。  
 2⇒以前の回答の結果を検証する質問は必要。しかしこれも何をしたか、何をしないかを事前に調査して質問すべき。  
 3⇒これもその後の経過を事前に調査して質問すべき。知らないことを聞くのではなく、知りうる限りのことを知った上で問題点を明確にして質問する必要がある。  
 4⇒可児市の調査を踏まえ、どういう手立てがあるか、自らの考えを提示して質問すべき。出前の文化芸術プログラムの充実についても同様。  
 5⇒いじめ問題に関する仙台市の実態と取り組みとその問題点を事前に調査して質問すべき。足元を調査して、初めて他の都市の調査が生きてくる。

平成24年第4回定例会（第4日目）2012. 12. 12

発言順：3 庄司俊充（復興仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：農業振興について（被災農地の圃場整備事業の進捗状況。次年度に向けた取り組み。復旧工事後の作付可能面積。農地の受け手の法人化の取り組み。JA仙台との協力、役割分担等。シイタケ生産農家に対する支援。農業園芸センターの見直し。市長の意気込み）	0	0	1	1
2：地元産材利用の促進	0	0	1	1
3：泉ヶ岳の自然ふれあい館（新築）の利活用。スキー場の営業再開の見通しと支援方針。	0	0	0	0
4：メモリアルパーク的な歴史資料を展示できる施設の必要性。被災の記憶を伝えるメモリアルパークの建設の検討状況	0	0	1	1
5：ゲリラ豪雨対策	0	0	0	0
	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>3</b>

【コメント】

1⇒質問者が挙げる問題点について市が今何をやっているのか、事前に調べて、そのどこに障害があるかを把握して質問すべき。これでは問題点の羅列と回答の丸投げである。  
 2⇒1と同様、事前に調べて質問すべき。  
 5⇒1と同様、事前に調べて質問すべき。

平成24年第4回定例会（第4日目）2012. 12. 12

発言順：4 鎌田城行（公明党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：津波防災地域の復興について ・12月7日の津波警報への対応と今後の取り組み ・県道塩釜巨理線より東側の地域の津波避難施設 ・荒浜小学校の津波避難施設としての活用 ・宮城野区蒲生地区の津波避難 ・3・11の津波到達点の表示 ・県道塩釜巨理線への津波避難施設の整備 ・東部地域の農地利用の基本的な考え方 ・復興需要に関する市民への周知	2	1	2	5
2：公園の整備について ・災害時の市民の避難等に活用 ・照明の設置（災害時の市民の避難等に活用） ・点字ブロック等の整備 ・遊具の点検，拡充 ・健康遊具の安全な利用を促すための案内版の取り組み	2	1	2	5
3：中央道の笹子トンネルでの天井落下事故を受けての本市における安全点検の取り組みについて ・地下鉄の保守点検 ・エレベーターの安全点検 ・12月7日の地震による仙台市青葉体育館の天井落下 ・市民への事故防止の呼びかけ，啓発	2	0	1	3
	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>13</b>

【コメント】

1⇒津波被災地域の復興の問題点を整理した優れた質問。  
2⇒調査結果を踏まえて公園の整備についての問題点を整理し，具体的改善案を携えた優れた質問。担当者に聞けば済む質問が含まれていないところが特色。

平成24年第4回定例会（第4日目）2012. 12. 12

発言順：5 高見のり子（日本共産党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：復興の原則（元の生活を取り戻すまで一人一人に必要な公的支援を行うこと）の確認	0	0	0	0
2：危険区域の決定方法の誤り（住民の納得と合意を前提にせず，一方的に線引きしている）	0	0	1	1
3：防災集団移転のための独自支援策としての借地料免除期間（最低でも35年を保障すべき）	1	0	1	2
4：住み続けたい方が住み続けられる工夫と努力の必要性	1	1	1	3
5：蒲生北部地区 ・移転したい方には防災集団移転事業を。住み続けたい方には住み続けられるようにすべき。 ・多重防御をして，住み続けられるようにすべき ・多重防御をしないで区画整理を行うべきではない	2	0	1	3
6：新浜，南蒲生，三本塚，井土などの浸水区域でも防災集団移転事業を適用して移転を支援すべき	2	0	1	3
7：浸水地域の現地再建の支援策について（盛土や基礎のかさ上げの補助が生かされていない。修繕には使えない。修繕の場合の生活再建支援金の不足）	1	0	1	2
8：独自支援の対象を一方的に線引きせず，実際に被害に遭った人を対象に盛り土，かさ上げ費用を支援すべき。	1	0	1	2
9：生活再建支援金の不足	0	1	1	2
10：住宅の再建支援が個人資産の形成に繋がるという古い考え方を改めて，最後の一人が生活再建できるまで支援すべき。	0	0	0	0
	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>8</b>	<b>18</b>

【コメント】

4・5・6⇒調査結果を踏まえ，問題点を捉えた優れた質問。

平成24年第4回定例会（第4日目）2012. 12. 12

発言順：6 ひぐちのりこ（社民党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：仙台市地域防災計画中間案について ・12月7日の地震についての沿岸部の避難の実施と避難所の開設 ・指定避難所の選定と位置づけ。学区の変更。 ・実際に避難所の開設や運営に携わった職員の参画 ・地域にある施設の資材や備品の活用	1	0	1	2
2：情報通信体制の整備 ・杜の都防災メールの登録者の拡大の必要性和拡大方法 ・外国人向けに情報発信するS I R Aメールの登録を伸ばすための広報	1	0	1	2
3：家庭内備蓄 ・備蓄の量 ・備蓄の場所 ・期限切れを防ぐ方法	0	0	1	1
4：地域防災計画中間案の基本方針と乳幼児とその保護者への災害対策 ・日頃からの母乳育児に対する理解とサポートの重要性 ・粉ミルクと哺乳瓶の公的備蓄 ・母乳育児が（災害時にも）継続できるための情報提供と支援（支援スタッフのスキルアップ等） ・関係機関や経験者等が連携し、相談できるサロンの開設	1	0	1	2
5：福島第一原発事故に伴う放射性物質の対応 ・国基準を上回る数値を市民が計測した事例の把握と除染作業、処理方法 ・マイクロスポットと校外学習、保育所の散歩の場合の対応 ・放射線を浴びた廃棄物の適切な処分 ・8000ベクレルを越える放射性廃棄物の処理方法 ・東京電力の責任で保管する必要 ・原子力防災部会、作業部会で検討する必要 ・原発事故子ども・被災者支援法と本市の責務 ・支援法の対象地域の基準の明確化と地域の確定と支援法に基づく適切な対応の必要性 ・福島からの避難者への支援法の適用	1	0	1	2
	4	0	5	9

【コメント】

具体的な改善案を提示して質問するためには、調査、研究（専門家のアドバイス等）が必要。

平成24年第4回定例会(第5日目) 2012. 12. 13

発言順: 1 及川英樹(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 雇用対策としてのテレワークについての当局の所見と今後の取組み	0	0	0	0
2: 孤立死・孤独死について ・市としてのこれまでの取組みと今後の充実化 ・一人暮らし高齢者の日常生活の安全確保対策	1	0	1	2
3: ゲートウエードラッグ, 脱法ハーブについて ・市としての対応 ・薬物中毒者同士が医療機関などで知り合い, 情報交換するケース などについての市の認識	0	0	0	0
	1	0	1	2

【コメント】

1⇒テレワークと市政の関係について基礎的調査を行い, 市として何が出来るか, 何をなすべきかを特定して質問すべき。  
2⇒市としてのこれまでの取組みは予め調査しておく必要がある。  
3⇒市として何をしているのか, そのどこが不十分なのか, 足元の調査をまず行い, 他都市の事例と比較し, 「〇〇すべき」「〇〇をしないのはなぜか」という質問に変える必要がある。自分が知らないことを聞く質問は議会の緊張感を喪失させる原因。



平成24年第4回定例会(第5日目) 2012. 12. 13

発言順: 2 大泉鉄之助(自由民主党)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 稲葉副市長について ・ 職責, 立場についての認識 ・ 自負と自己採点 ・ 議会との約束の実行, 実現とそれについての責任 ・ 兼務している五十数団体の職責を全うしているか	0	0	0	0
2: 追廻住宅跡地, 国際センター, 仙台商業跡地の総合的設備とスポーツセンター跡地の位置づけ, 国連防災世界会議の誘致についての決意と考え方	0	0	1	1
3: 地下鉄東西線整備について ・ 国の負担の実効性 ・ 沿線開発の現状分析と今後の促進 ・ さらなる建設事業費の縮減	0	0	0	0
	0	0	1	1

【コメント】

1⇒このような抽象的質問に意味があるのかどうか検討する必要がある。  
3⇒利用者予測の下方修正の原因がどこにあるか分析する必要がある。沿線開発の不調は副次的理由。主たる理由は需要予測の誤り。それを見逃した質問者を含む当時の議会の責任にも言及するべき。

平成24年第4回定例会(第5日目) 2012. 12. 13

発言順: 3 やしろ美香(自由民主党)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 国政選挙の各党の公約(マニフェスト)に対する市長の立場 ・ 原発問題 ・ 消費税問題 ・ TPP	0	0	0	0
2: 消費者教育と啓発 ・ メディアを使った広報, 確実に各戸に届く配布などの周知の工夫 ・ 消費者教育教材の活用の検証 ・ 学校における消費者教育(研修会の開催状況, 人材の活用) ・ 今回製作される教材の有効利用のための取組み	1	0	1	2
3: 復興公営住宅と居住再開後のコミュニティの構築(ICTの活用)	0	0	1	1
4: いじめ問題と条例の制定の必要性について ・ 小野市の条例についての市長の評価 ・ 可児市の条例についての評価 ・ 条例制定についての市長の見解 ・ 第三者機関による対策委員会	0	2	2	4
5: 児童虐待予防体制の充実(若年の妊婦に対する出産前早期の段階からの支援) ・ メール相談の導入 ・ 関わりのある機会を見逃さない体制の整備	1	1	1	3
6: 仮設住宅の子ども達へのプレゼント	0	0	1	1
	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>11</b>

【コメント】

1⇒それを尋ねる意味がどこにあるのか検証するべき。  
4⇒2つの先進地の事例を引いている優れた質問。仙台市のいじめ対策を詳しく調査し, 条例の制定によってそれがどのように変化すると予想されるかについても言及すれば更に優れた質問になる。

平成24年第4回定例会(第5日目) 2012. 12. 13

発言順: 4 安孫子雅浩(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: ベガルタ仙台的活躍とACL出場についての市長の所見	0	0	0	0
2: 東京オリンピックの誘致についての取組み	0	0	0	0
3: 仙台ハーフマラソンと神戸マラソンとの今後の交流事業の確立についての所見	1	1	2	4
4: マラソン大会開催の経済効果についての所見	1	1	1	3
5: スポーツコミッション設立についての所見	0	0	1	1
6: 仙台市博物館と宮城県美術館の充実の必要性についての所見	0	0	1	1
7: 地域づくりを支援する機能の充実 ・区役所機能の充実, 市民センターの職員体制, 館長の採用方法等の見直し ・地域連携担当職員によるまちづくり支援活動の状況と配置3年目に向けた活動内容	0	0	0	0
8: 公共施設総合的マネジメントプランへの取組み	0	0	0	0
9: 津波警報と避難について ・津波警報が発令された場合の沿岸部での避難所の開設と人員派遣の(防災計画の見直しの中での)検討状況 ・沿岸部からの車両による避難を想定した避難動線のあり方や道路環境についての検証と地域防災計画への反映	1	0	0	1
	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>10</b>

【コメント】

3⇒具体的提案を伴った優れた質問

7⇒これまでの取組みと今後の取組みの予定は予め調査する必要がある。調査結果に基づき問題点を整理し、その案を携えて質問する必要がある。

8⇒重要な課題。議員側でも総合的研究が必要ではないか。他都市の事例を研究し、具体的提案を持った質問をするべき。

平成24年第4回定例会(第5日目) 2012. 12. 13

発言順: 5 渡辺博(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 本市の道路に関する事故件数の推移と対応	0	0	0	0
2: (道路の) 日常パトロール体制と強化への取り組み	0	0	0	0
3: 市民からの情報提供の手法に工夫を加えながら推進すべき	0	0	1	1
4: 公共物のリスク管理に対する認識と今後の対応	0	0	0	0
5: 専決処分にかかる時間が1年を超えるケースについての経過	0	0	0	0
6: (仮称) 若林警察署の設置について ・本決まりになったのかどうか ・交番設置要望に対する対応 ・要望の切実さに対する認識 ・設置が遅れている理由	0	0	0	0
7: 空家対策・廃屋対策 ・市民からの要望がどれくらいあるか ・それに対するこれまでの取り組み ・先進事例に鑑み踏み込んだ施策が求められる時期に来ているのではないか	0	1	1	2
8: 仙台市天文台について ・(PFIを採用したことの是非も含め) これまでの評価 ・完全民間委託になるにあたっての見解 ・来館者の足の確保とこれまでの取り組み ・天文車ベガ号のこれまでの評価と今後の運行 ・車台及び望遠鏡の制御系の交換の予定 ・仙台市の努力の必要性	0	1	0	1
9: 水族館建設について ・2カ所の計画への関わり ・3カ所になる可能性がある水族館建設計画についての市の見解	0	0	0	0
	0	2	2	4

【コメント】

- 1 ⇒ 事前に調べて問題点を特定して質問すべき。  
 2 ⇒ [1] と同様。  
 4 ⇒ 質問の仕方が抽象的すぎる。具体的な形で質問すべき。  
 5 ⇒ [1] と同様。  
 6 ⇒ [1] と同様。設置が遅れている理由を予め調べて質問すべき。  
 7 ⇒ 先進事例を調査した優れた質問。  
 9 ⇒ 複数の水族館建設計画について仙台市として何をすべきかを明確にして質問すべき。

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
<p>1: 地域防災計画共通編 地震・津波災害対策編の中間案概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画の見直しと行政の限界論, 住民の自己責任論について</li> <li>・行政の役割と責任を基本に据えるべき</li> <li>・市の対応が不十分であった理由の解明が必要</li> <li>・市職員のマンパワーが人減らし等でそぎ落とされてしまった結果ではないか</li> <li>・日頃からの地域住民との関わり合いが少なくなったことの結果でもあるのではないか</li> <li>・災害時に市民の生命の安全のために対応できる職員(質と量)を確保する必要性</li> <li>・自助, 共助と呼ぶことのトリック性</li> <li>・自助と公助に線を引くのではなく, 地区防災計画を作り, 防災訓練で実効性や課題を確かめ, 定期的に住民参加で見直しを続けていく必要性</li> <li>・災害発生時等に指定避難所の開設の準備を行う指定動員職員について</li> <li>・災害救助法の役割を県から基準自治体へ移行させること, 区役所や総合支所の強化, 中学校毎の地区防災計画</li> <li>・補助避難所, がんばる避難施設の実情に合わせた運用</li> <li>・グループ化と住民参加の後退</li> <li>・要援護者の支援対策を市が責任をもって進める必要性</li> <li>・災害対策本部と各避難所との情報連絡の重要性とロールコール方式</li> <li>・12月7日の地震と津波警報発令と指定避難所への職員の派遣, 津波の際の離れた避難所の指定, 避難行動の調査</li> </ul>	2	0	3	5
<p>2: 仙台市地域防災計画原子力災害対策編について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力災害対策編を策定した決意</li> <li>・国の拡散予測の問題点と仙台市への影響(最悪の時の被曝量, 7日間で100ミリシーベルトに達しないのか)</li> <li>・仙台市民が避難する計画</li> <li>・原発の再稼働反対, 即時ゼロの立場を表明すべき必要性</li> <li>・ヨウ素剤の配布と仙台市独自のモニタリングポスト</li> </ul>	1	1	2	4
	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>9</b>

【コメント】

1⇒地域防災計画の問題点を整理し, 改善案を提示した優れた質問。災害時に市民の生命の安全のために対応できる職員の確保は, 人減らしだけが原因なのか, 質の問題にも踏み込んで調査すべき。他の被災地の地域防災計画の見直しとの対比も必要。訓練に基づく見直しがきちんと行われているかどうか, 今後もフォローが必要。  
2⇒原子力災害対策編の問題点を捉えた優れた質問。女川原発事故時の仙台市への影響と対策について今後も継続的に取り上げる必要がある。

平成24年第4回定例会(第6日目) 2012. 12. 14

発言順: 2 大槻正俊(社民党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 観光客の数を回復させるための取り組みについて ・観光交通などの受け入れ環境整備(中心部でのバスの降車, 乗車場所の確保, 女性トイレを多く配置したトイレ施設の充実, 観光情報提供場所の確保, るーふる仙台のコース設定の工夫, 通行間隔) ・観光ボランティアの方々とも連携した仙台市内の観光コース作り(研修, ボランティアの協力を得た新たなコース作り) ・広域連携の取り組み(米沢ルート, 白石ルート, ふるさとルート, 会津ルート, 平泉ルート, 桃山文化の薫る寺社めぐりルート) ・被災地を理解してもらう取り組み ・教育旅行の誘致 ・食による観光PR ・長期的視点での作並温泉の振興策	2	2	3	7
	2	2	3	7

【コメント】

1 ⇒観光政策のポイントをつき, 他都市の事例も踏まえた具体的な改善策を伴った優れた質問。

平成24年第4回定例会(第6日目) 2012. 12. 14

発言順: 3 早坂あつし(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 仙台市図書館振興計画について ・本市のめざす図書館像 ・本市の有する図書館の今後の進展 ・東北初の漫画ミュージアムのような施設の開設 ・新しい文化の発信と行政とのかかわり	0	1	1	2
2: 感性教育について ・感性教育の現状 ・今後の取り組み	0	0	0	0
	0	1	1	2

**【コメント】**

1⇒他都市を調査するのであれば、仙台市図書館の特徴と問題点と改善の方向をあらかじめ調査・研究し、それと他都市を比較し、仙台市の図書館の何が良くて何がまずいかをはっきりさせ、「他都市では〇〇をしているが仙台市でもできるのではないかと質問する必要がある。他都市の調査が上滑りし、十分役に立っているとは言い難い。

2⇒感性教育の現状は事前に調べ、問題点をはっきりさせ、質問するべき。

平成24年第4回定例会(第6日目) 2012. 12. 14

発言順: 4 佐藤わか子(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 子ども・子育て関連三法について ・仙台市の子ども・子育て支援施策への影響 ・仙台市の子ども・子育て会議の位置づけ ・仙台市の子ども・子育て会議のメンバー構成や規模 ・幼児教室に対する考え方, 子ども・子育て会議の課題に盛り込むことについての見解 ・法案の地域型保育についての所見 ・幼保連携型認定こども園について	1	0	2	3
2: 発達障害の療育について ・アーチルが二館体制になったことと相談までの待ち時間 ・保育者の緊急的ニーズに対応できているか ・療育の連続性について ・アーチルのあるべき姿 ・発達障害に関する仙台市の現状認識と市としての具体的支援策 ・教員や指導補助員への取り組み ・特別支援学級の担任の指導力の向上 ・保護者が発達障害を認めない場合の学校としての対応 ・放課後等デイサービスと発達障害に対する支援との関係 ・発達障害についていつでも相談できる体制の必要性(札幌市) ・担当部局の一本化	1	1	2	4
3: 復興計画期間における行財政改革と錦町庁舎の子供相談支援センターについて(同じような事業を実施しているところに整理することも可能ではないか)	1	0	1	2
	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>9</b>

【コメント】

1⇒子ども・子育て関連三法の影響を見据えた優れた質問  
2⇒発達障害の療育の問題点を整理し、改善策も伴った優れた質問。「アーチルが二館体制になったことと相談までの待ち時間」「保育者の緊急的ニーズに対応できているか」などは事前に調査する必要があるのではないか。他都市の事例との比較は今後も必要。



質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 遊具点検のあり方 ・市内の公園, 学校施設の遊具点検 ・民間会社に遊具点検業務を依頼する方法	0	0	1	1
2: パンダ誘致見直し ・研究計画案 ・視察と調査 ・餌の確保 ・市への意見 ・被災者に特化したアンケート, ヒアリング調査の実施	0	0	0	0
3: 雨水対策について ・根本的な市の認識 ・復興交付金による雨水対策の概要 ・住戸の段階から排水抑制	0	0	0	0
4: 建設工事全般にかかわる事案(建設工事現場の交通誘導員の設置の義務づけと周知方法)	0	0	0	0
5: 仮設住宅について ・再契約できなかった戸数 ・効率よく運営する方法と空き部屋の利活用 ・入居期限の明示	0	0	0	0
6: 地域防災リーダーを早期に拡充する必要性	0	0	1	1
7: 見直された地域防災計画と徒歩避難, 車での避難のあり方	1	0	1	2
8: 杜の都防災メールの登録件数を伸ばす方法	0	0	0	0
9: エネルギー企業フェアの来場者数, マッチングに成功した組数, 今後のあるべき姿	0	0	0	0
10: 挨拶の励行についての所見	0	0	0	0
	1	0	3	4

【コメント】

- 1 ⇒ 市内の公園, 学校施設の遊具点検がどのように行われているかは事前に調査する必要がある。  
 2 ⇒ 餌の確保, 市への意見などは事前に調査する必要がある。  
 3 ⇒ 雨水対策として今何をすべきなのか, 問題点を特定して質問するべき。復興交付金による雨水対策の概要も事前に調査するべき。「住戸の段階から排水抑制」とは何か, 市として何が出来るかを特定して質問するべき。  
 5 ⇒ 効率よく運営する方法としてどういうことがあるか具体的な案を提示するべき。  
 8 ⇒ どう改善するべきか具体的な案を出す必要がある。